

平成26年度 附属学校園存続のための特色化にかかわる事業実施報告書

| | |
|---|--|
| 事業の名称 | <p>「発展的な学習等によるスーパー中学生の育成」</p> <p>『学び伸ばし・学び直しセミナー』事業の継続と一層の充実」</p> <p>～附属生一人一人の「底力」をはぐくむ附属ならではのプロジェクト～</p> |
| 事業実施代表者名 | 附属旭川中学校長 安藤秀俊 |
| 実施附属学校名 | 附属旭川中学校 |
| 事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述) | <p>本校は、校区が広範なためバスを利用して通学している生徒が少なくなく、バスの待ち時間を上手に活用したり、もっと自分の興味や特性に応じた学習を進めたいという子どもの願いを叶えたりする場として、放課後に「学び伸ばし・学び直しセミナー」を実施しています。</p> <p>この取組は、「自学」を基本とし、学力の向上はもとより、各々の学習設計する力も同時にはぐくむことを大きなねらいとしています。座学はもちろんのこと体育も含め、自分の学習課題の克服や、興味のある教科の検定等にもチャレンジするなど、一人一人の主体的な学びを後押しする活動です。生徒には大変好評で、今年度は、座学・体育あわせて73回実施しおよそ1300名の生徒が受講しています。(1月末日現在)</p> <p>評議員からも高い評価をいただいている取組の一つです。</p> |
| 成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述) | <p>一昨年度から実施している附属小学校の高学年の児童への呼びかけも継続して実施しています。一つの教室で将来の先輩・後輩が、教えたり学び取ったりと、微笑ましい光景が見受けられるようになってきています。また、次表のように、単に受験するだけでなく、確かな結果を残している生徒が増えてきています。</p> <p>なお、各種検定の様子については、別紙にて報告することとします。課題については、現在、時間講師をやりくりしながら体制を組んでいるものの、人的・物的な体制の維持があげられます。</p> |
| 今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述) | <p>今年度のセミナーは、内容的にも一層充実してきており、生徒はもとより保護者からも高い評価を受けているところです。</p> <p>これは、主に次の3点に依ると捉えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発展的・補足的学習の推進 ○ 体育学習の推進 ○ 小学校との連携 <p>今後、一層充実させていきたいと考えています。</p> |

| | |
|---|----|
| 事業の公表状況 (事業をHPで公開した 場合、又は新聞等に 掲載された場合、 当該媒体名、掲載日 等を記入) | なし |
|---|----|

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。